

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	早川運輸株式会社
所在地	神奈川県横浜市中区本町5丁目49番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 早川正雄
担当者連絡先	電話：045-212-6850
	メール：hama i@hayakawaunyu. co. jp
ウェブサイトURL	http://www. hayakawaunyu. co. jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は明治18年に創業した港湾運送事業者であり、神奈川県内の港湾を中心として海貨業、通関業、倉庫業、一般港湾運送事業等を営んでおります。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	作業の改善(事務所での省エネ)、施設設備の改善(老朽設備の改善)等を行い、エネルギー効率を向上させ温室効果ガス排出量を削減する。	電気使用原単位を前年比0.3%削減する。 【現状】1.434 【目標】1.398
□環境 ✓社会 ✓経済	業務効率化に取り組み、時間外労働時間を短縮する	月平均の一人当たりの時間外労働時間 【現状】16.08時間/月/人 【目標】14.58時間/月/人
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント行為に関する当社の方針を定め周知している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・長時間労働是正のための改善、所定外労働時間の削減や有給休暇の取得を行える労働環境の整備に取り組んでいる。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる					3					8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる						3												
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5			10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講や、業務に必要な資格取得を積極的に行い、費用の全額補助等、従業員の学びを支援している。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる										8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・廃棄物の管理、梱包材の再利用、ゴミの分別回収等3Rの推進に取り組んでいる。											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・自社のエネルギー使用量を把握し、二酸化炭素排出量を把握している。 ・環境保全のためのエネルギー効率向上目標を設定し、推進している。(毎年度策定)								7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている									7.2 7.3				12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	AEO認定通関業者として輸出入関連業務及び関税法、通関業法その他関係法令に規定する税関手続きについて、法令を順守し、業務を適正かつ円滑に遂行し、サービスの安全性を確保している。			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6					12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・社会奉仕団体に所属し、その活動に取り組んでいる。 ・人道支援活動団体への寄付を通じ課題の解決に向けて支援を続けている。				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9	11	12	13					

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 横浜市中区本町5丁目49番地

名称： 早川運輸株式会社

代表者： 早川 正雄

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	作業の改善（事務所での省エネ）、施設設備の改善（老朽設備の改善）等を行い、エネルギー効率を向上させ温室効果ガス排出量を削減する。	電気使用原単位を前年比0.3%削減する。 【現状】1.434 【目標】1.398	電気使用原単位を前年比0.3%削減する。 【目標】1.398 【実績】1.373
□環境 ✓社会 ✓経済	業務効率化に取り組み、時間外労働時間を短縮する	月平均の一人当たりの時間外労働時間 【現状】16.08時間/月/人 【目標】14.58時間/月/人	業務分担見直し、業務システムの改善により、月平均の一人当たりの時間外労働負荷を軽減 【目標】14.58時間/月/人 【実績】14.08時間/月/人
□環境 □社会 □経済			